

\*〔4〕は設問が誤解を与えるような不適切な表現となっていたため、訂正しました。詳細については、2月23日掲示のお知らせをご覧ください。

## 第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

## 法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出なければならない。
- 2 あらかじめ総務大臣の許可を受けなければならない。
- 3 あらかじめ総務大臣に無線設備の変更の工事の予定期日を届け出なければならない。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受けなければならない。

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、☐ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その<sup>きょう</sup>筐体の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が☐ に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 他の電氣的設備の機能
- 2 自動レーダープロットング機能
- 3 磁気羅針儀の機能
- 4 自動操舵装置の機能

〔3〕 第一級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶に施設する空中線電力50ワット以下の無線電話及びデジタル選択呼出装置で25,010kHz以上の周波数の電波を使用するものについて行うことができる操作はどれか。次のうちから選べ。

- 1 船舶局の無線設備の操作
- 2 船舶局の無線設備の通信操作（国際電気通信業務の通信のための通信操作を除く。）
- 3 航空局の無線設備の国内通信のための通信操作
- 4 船舶地球局の無線設備の技術操作

〔4〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局の免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 2 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 4 無線局が暗語を使用して通信を行っていると認めるとき。

〔5〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに、総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 期間を定めて行う電波の型式の制限
- 2 期間を定めて行う空中線電力の制限
- 3 期間を定めて行う通信の相手方又は通信事項の制限
- 4 再免許の拒否

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 2 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 航海船橋の適宜な箇所
- 4 船内の適宜な箇所

# 第一級海上特殊無線技士試験問題

## 法 規

〔7〕 デジタル選択呼出通信（遭難通信、緊急通信及び安全通信を行う場合のものを除く。）において、自局に対する呼出しを受信した船舶局は何分以内に応答することになっているか。次のうちから選べ。

- 1 5分
- 2 8分
- 3 10分
- 4 15分

〔8〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しであることが確実に呼出しを受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局が応答しない場合は、直ちに応答する。
- 2 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確かめる。
- 3 応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに「貴局名は、何ですか」を使用して、直ちに応答する。
- 4 その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。

〔9〕 次の記述は、無線電話通信における通報の送信について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

通報の送信は、次に掲げる事項を順次送信して行うものとする。

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| ① 相手局の呼出名称 | <input type="text"/> |
| ② こちらは     | 1回                   |
| ③ 自局の呼出名称  | 1回                   |
| ④ 通報       |                      |
| ⑤ どうぞ      | 1回                   |

- 1 2回
- 2 3回以下
- 3 1回
- 4 3回

〔10〕 遭難通信を行う場合を除き、その周波数の電波の使用は、できる限り短時間とし、かつ、1分以上にわたってはならないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 2,187.5kHz
- 2 27,524kHz
- 3 156.8MHz
- 4 156.525MHz

〔11〕 無線局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻をどのように照合しておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 運用開始前に中央標準時又は協定世界時に照合する。
- 2 毎日1回以上中央標準時又は協定世界時に照合する。
- 3 毎週1回以上中央標準時に照合する。
- 4 毎月1回以上協定世界時に照合する。

〔12〕 船舶局における遭難警報又は遭難呼出し及び遭難通報の送信は、誰の命令によって行うか。無線通信規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

- 1 船舶局を有する船舶の責任者の命令によってのみ行う。
- 2 できる限り、船舶の責任者の命令によって行う。
- 3 船舶局の責任者の命令によってのみ行う。
- 4 できる限り、船舶局の免許人の命令によって行う。